

服用に際して、この添付文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

龍風散

第2類医薬品

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他の解熱鎮痛剤、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用前後は飲酒しないこと

4. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)
- (4) 高齢者
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (6) 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3.5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能又は効果】

- 1.頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- 2.悪寒・発熱時の解熱

【用法及び用量】

大人（15才以上）……………1回 1包宛
 11才以上15才未満……………1回 2/3包宛
 7才以上11才未満……………1回 1/2包宛
 3才以上7才未満……………1回 1/3包宛
 1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。服用間隔は6時間以上おくこと。
 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

【成分・分量】 1日量（2包中）

エテンザミド600mg、アセトアミノフェン600mg、無水カフェイン120mg
 添加物として軽質無水ケイ酸、バレイショデンプン、d-ボルネオール、サッカリンナトリウム、黄色4号を含有します。（1包量1000mg）

【保管及び取扱い上の注意】

- （1）直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- （2）小児の手の届かない所に保管すること。
- （3）他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり、品質が変わる。）。
- （4）使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

【問い合わせ先】

製造販売元 **渡辺薬品工業株式会社**

富山市水橋北馬場1番7

TEL(076)479-9123

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931